

# ふちとを知らう

文教菊池の人々(江戸期の人物篇) シリーズ 16

## 石淵八龍(万寿)

石淵八龍(一八三七〜一九〇二)は、天保八(一八三七)年正月に水次村に生まれ、通称万寿といいました。石淵家は代々医者を家業とし、八龍の時に私塾「楽只堂」を開き、「経学」即ち儒学による子弟教育を行いました。家業の医者を継いだ八龍は、患者の貧富・親疎に関わらず、また患者宅の遠近をいとわず往診し、完治まで投薬するなど、名医として慕われました。しかしその八龍は、疾病は医術で治せるけれども、侵された人の心や傷つけられた世の中の道は、「経学」特に「忠孝」でしか治せないと確信していました。そして八龍自らも率先垂範、門弟数百人がその教育の感化を受けています。

石淵八龍の墓(右) 石淵万寿自筆の手習い本(下)



また八龍は博学で、詩文もうまかったようですが、非常に謙虚であったため、あまり多く伝わっていません。数少ない漢詩の中には、「菊池八景」(七言絶句)があります。それらは、「鞍嶽晴雪」(鞍岳の雪)・「菊池朝霧」(菊池川の朝霧)・「西寺晚鐘」(西寺の夕暮れの鐘)・「笠峰秋月」(八方岳の月)・「広瀬飛螢」(広瀬の螢)・「守山霜葉」(文責) 社会教育指導員 堤 克彦

### 「人権・同和問題の完全解決をめざして」

2007年度「差別のない明るいまちづくり懇談会」を開催しています

人権問題は、私たちの暮らしと深く関係しています。それは、昔から言い伝えられている迷信、因習や不当な予断・偏見など、間違つて受け止められていることが差別意識を残す要因になっているからです。

そのため、地域に根ざした様々な間違つた問題を正しく理解し、改めていかなければなりません。そこで、私たち市民一人ひとりが、同和問題をはじめすべての人権問題を自分のこととして受け止め、不合理な差別に対する問題意識を高めながら「差別のない明るいまちづくり」をめざし、菊池市内全域を対象とした地区別懇談会を開催しています。

実施時期 11月末まで(一部地域を除く) 懇談会区割り 菊池、七城、旭志、泗水の4地区を、さらに各行政区の3ブロックに分け、毎年1ブロックを実施し、3年間で全域を巡回します。(下表参照)

懇談会内容 ○プレゼンテーションの視聴

Table with 2 columns: 実施予定地区 and 実施内容. Lists areas like 菊池地区, 七城地区, 旭志地区, 泗水地区 and their respective implementation details.

人権同和教育シリーズ(30) 「盲導犬フロックスの「思い出」を読んで」 菊池南中 中原慧美 (平成18年度卒)

第8回きくち市民フォーラムを開催します 入場無料 菊池市女性団体代表者会は、「男女がともに輝き支えあう社会(男女共同参画社会)」の実現を目指しています。

秋期狂犬病予防集合注射と犬の登録受付を行います 平成19年度秋期の狂犬病予防集合注射および犬の登録を次のとおり実施します。

児童センターに遊びに来ませんか 遊ぶに来ませんか ビーふれあい体操 11月14日(水) 午前10時から 西部市民センター